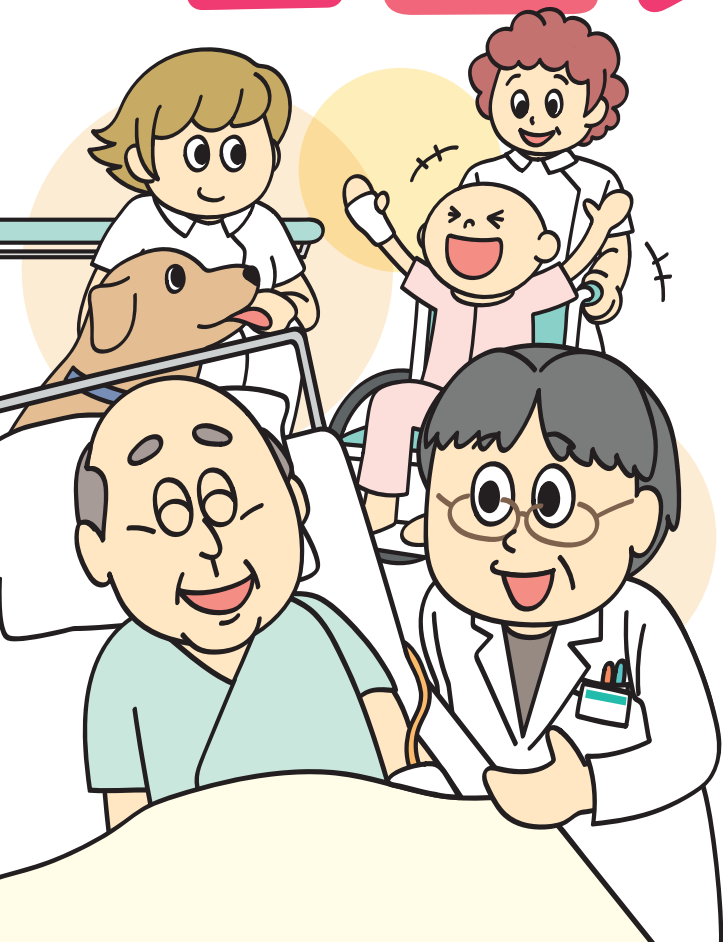


第14回

地域医療を守る運動

全国交流集会



とき 2023年11月23日 祝木
13:00~16:30 (閉会予定)

ところ 東京ビックサイト 6F会議室

りんかい線「国際展示場駅」より徒歩7分
ゆりかもめ「国際展示場正門駅」より徒歩3分
羽田空港より空港バスにて東京ビックサイトまで約25分
オンライン併用 (Zoom)

先着150名

参加申し込み

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZcp-c-CgqzkiGdlmYproqFKAbOWbVp4tZgFu>
登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。



参加費 1,000円 (オンラインは無料)

- ① コロナ感染症などパンデミック発生やさまざまな災害時における医療提供体制の在り方
- ② 国がすすめる医療提供体制縮小の中で、ベッド削減ありきの「地域医療構想」ではなく、必要なベッド数を確保する医療提供体制の確立
- ③ 全国各地の地域医療崩壊の問題を考えながら、医療提供体制の縮小・削減をくい止め、地域医療を守り充実させていく一致点で全国各地での運動を前進させるため、全国の取り組みについて交流を図ります。各地の「地域医療構想」「医療計画」を踏まえながら、住民要求にもとづく地域医療の実現をめざします。そのためにも、地域社保協への結集などで運動を前進させます。

13:00 開会(主催者挨拶/実行委員会)

13:15 記念講演

14:25 基調報告

14:50 特別報告

15:45 参加者からの報告

16:30 閉会挨拶 (17:00閉会予定)

自治労連所属の方は、自治労連本部へのお申込みをお願いいたします。

オンライン参加者の資料についてはデータ配信を予定しています

記念講演 佐藤 英仁氏

(東北福祉大学・総合福祉学部 准教授)

地域医療構想は妥当だったのか
—データから見える問題点—



プロフィール

東北福祉大学総合福祉学部、福祉行政学科、准教授。1980年福島県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士課程後期修了、博士(経済学)。専門は医療経済学、社会統計。看護分野における様々な諸問題や医師不足の問題等についての研究を行っている。統計的手法を用いた分析が中心である。

主な著書、『医師・看護師不足の現状と労働環境』(2015)『コロナ禍で見た保健・医療・介護の今後—新自由主義をこえて』共著(2022)

主催 「第14回地域医療を守る運動全国交流集会」実行委員会

実行委員会団体 日本医療労働組合連合会 / 中央社会保障推進協議会 / 日本自治体労働組合総連合

事務局 日本医療労働組合連合会 TEL03-3875-5871 ホームページhttp://www.irouren.or.jp/ E-mail : n-iryoumamoru@irouren.or.jp

申込はこちらから

